

自分に合った
活動の
見つけ方

「地域デビュー」 3つのポイント

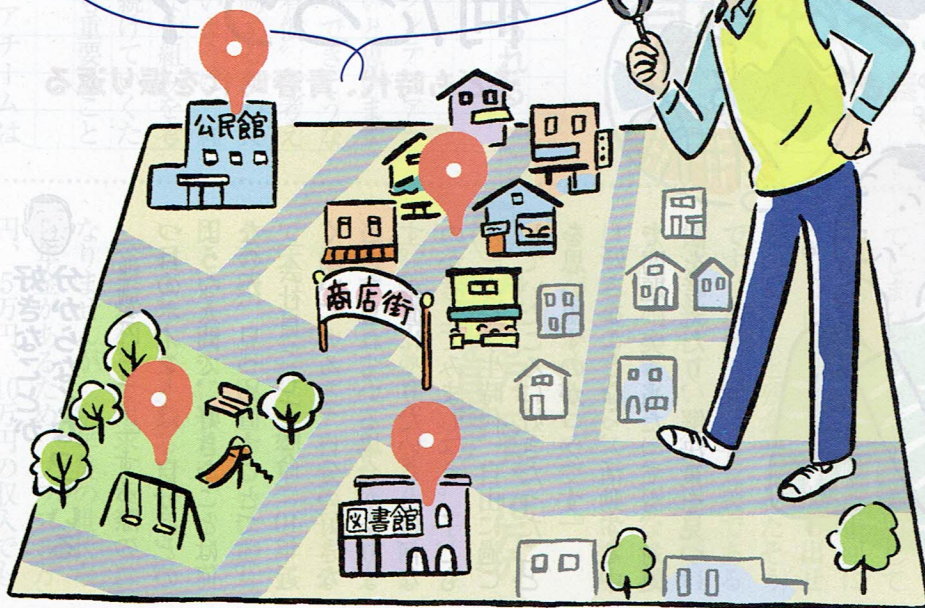
実際にどのようにすれば地域社会で
自分に合った「活動」が見つかるのでしょうか？

カギとなるのが、次の3つです。

現役世代は休日を利用して少しずつ、

定年を迎えた人は

さっそく今日から始めてみませんか？



ポイント
1

まず、 行動しよう！

探訪すると課題が見えてくる

歩いて調査しつつ、
消防団にも参加

まず地域社会に関心を持ち、歩いて探検、調査してみましよう。「この商店街はすっかりシャッター通りになってしまったな」「お年寄りばかりだけど、移動手段は車なんだろうか？」「子どもを見かけないけど、どこで遊んでいるんだろう」など、さまざまなお事に気付くはずですよ。

また、探訪しながら小売店で

買い物をしたり、定食屋などに入ってみるのもお勧めです。気に入った店ができて通うようになれば、店の人と顔なじみになって、世間話をするようになるかもしれません。知り合いが増えると、地域が今までと違ったものに見えてきます。

町内会の幹事や消防団の役員も、無理のない範囲でぜひ引き受けてみましょう。仕事を引き受けることで、自然に知り合いが増えて、地域で何が必要とされているかが分かってきます。

また、市区町村の多くは住民サービスの一環として、市民カレッジなどを開いています。関心のあるものに参加すれば、教養を深めたり、資格取得に役立つだけでなく、ここでも知り合いができるでしょう。

すでにボランティアなどで「地域デビュー」している知り合いがいたら、どのような内容で、メンバーや資金はどうしているのか、ぜひ取材してみましょう。